

平成20年度病虫害発生予察注意報第5号

平成20年8月1日

発表：福島県病虫害防除所

- 1 対象作物：水稻
- 2 病虫害：いもち病（穂いもち）
- 3 対象地域：山間・山沿い地域（県内全域）
- 4 発生量：やや多い（平坦部は平年並）

予報の根拠

- (1) 7月中旬以降、BLASTAMによる葉いもちの好適感染条件の出現回数が平年に比べ多くなっている。
- (2) 7月下旬の調査において、葉いもちの発生ほ場数が急激に増加している。
- (3) 県北・会津・浜通りの山間・山沿い地域では、葉いもち発生程度の高いほ場が認められ、穂いもちの伝染源となる上位葉への進展も認められている。
- (4) BLASTLによるシミュレーション結果では、今後、穂いもちの伝染源となる上位葉への葉いもち進展が予測されている（図1～3）。

防除対策

- (1) 上位葉に葉いもちの発生が認められるほ場では、穂いもちに移行する可能性が高いので、早急に散布剤による防除を実施する。
- (2) 稲の出穂時期はおおむね平年並と予想されるので、散布剤による穂いもち防除は、穂ばらみ期と穂揃期の2回散布を基本にし、遅れないように実施する。多発生の恐れがある場合には、さらに傾穂期にも追加散布を行う。
- (3) 出穂時期に降雨などの悪天候が続く場合には、雨の合間をねらって散布剤による防除を実施する。
- (4) 穂肥を実施した場合は、薬剤散布も併せて実施する。

- 情報内容への質問や要望は福島県農業総合センター安全農業推進部発生予察課（病虫害防除所）までご連絡ください。Tel 024-958-1709 Fax:024-958-1727
- 本情報は、福島県病虫害防除所ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html> でもご覧になれます。

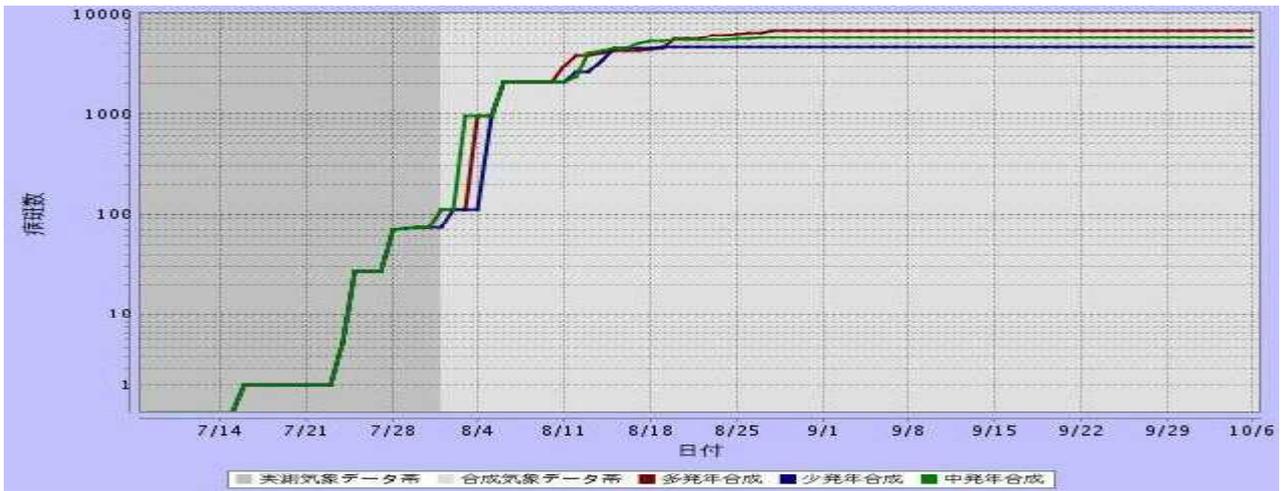


図1 JPP-NET WEB版BLASTLによるシミュレーション結果 (アメダス：二本松)
 (演算条件は、感染日を7/8、病斑数を第9葉に1個とし、他の条件はJPP-NET WEB版BLASTLの初期設定条件とした。予測開始日は8/1とし、以降の気象データはJPP-NET WEB版BLASTLのサンプルデータによった。図2、図3同じ)

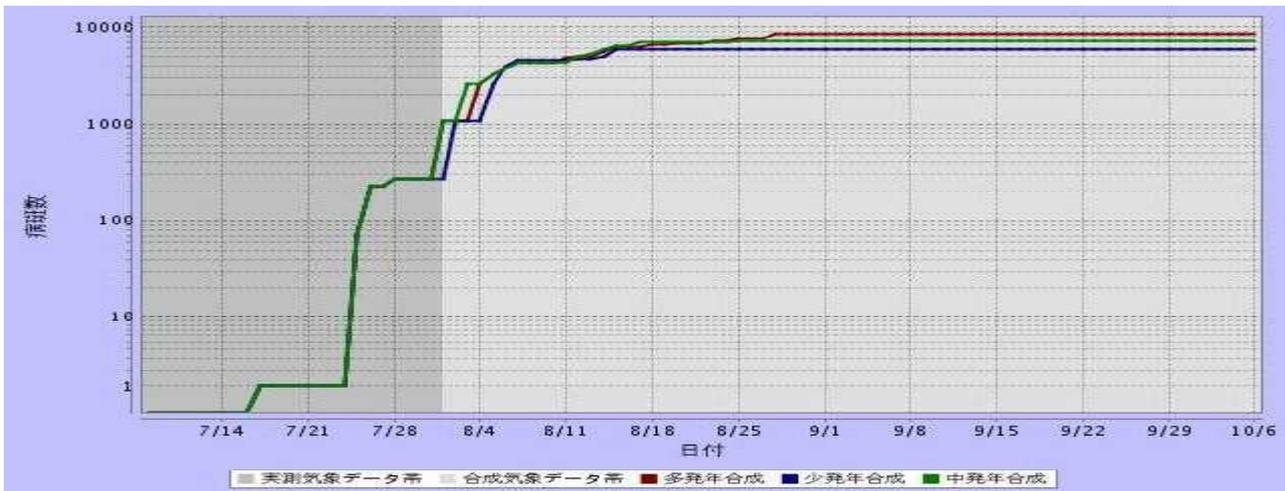


図2 JPP-NET WEB版BLASTLによるシミュレーション結果 (アメダス：金山)

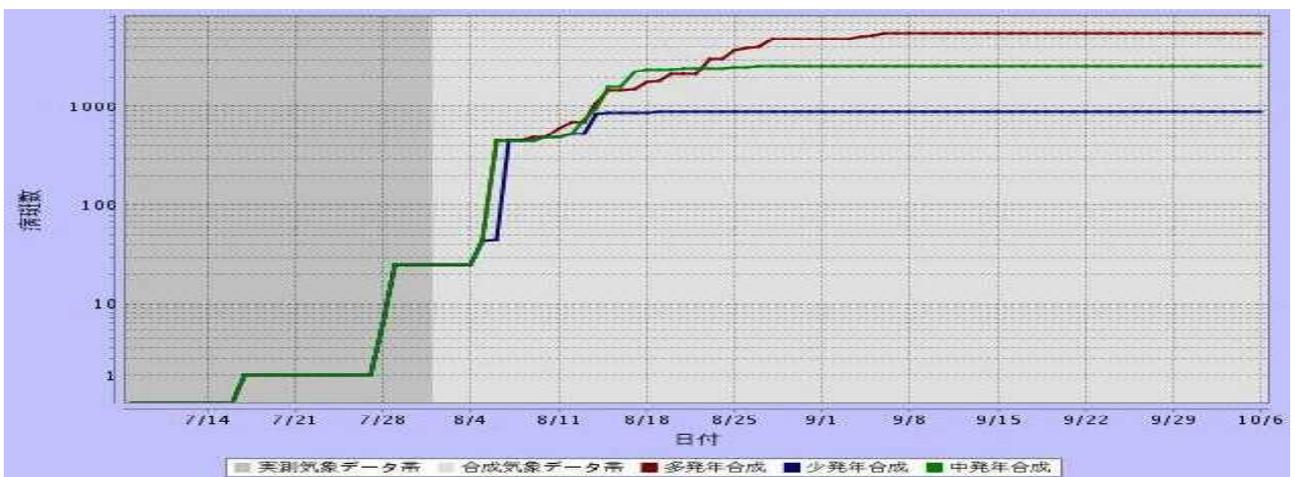


図3 JPP-NET WEB版BLASTLによるシミュレーション結果 (アメダス：飯舘)